

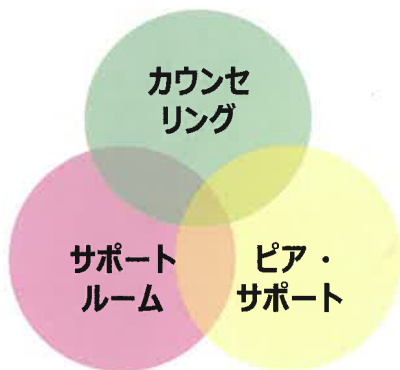
より充実した学校生活を送るために

担当者：スクールカウンセラー 奥田満美（臨床心理士・公認心理師）

- 「友人関係がうまくいかない」
- 「勉強の仕方がわからない」
- 「学校を休みがち」

「家庭内でコミュニケーションをとりにくい」
など日頃から、お困りではないですか？

教育相談室では、右のような3つのアプローチで、様々な悩みや課題を抱えた生徒を支援しています。必要があれば、保護者の皆様とも連携させていただきながら、生徒が充実した学校生活を送れるように、最善の対応をしていきたいと考えております。どうぞお気軽にご利用ください。



1. 個別のサポート<カウンセリングなど>

一対一の個人面接や簡単な心理検査を行っています。相談内容は本人の性格（特性、LGBT等これまで語れなかったことも安心して話してください。）、学習、対人関係、進路など多岐にわたっています。プライバシー保護を第一に、本人の意思を尊重しながら、必要があれば、保護者、担任と連携し、適切な機関をご紹介しますなど多角的にサポートしています。



2. サポートルームとして

生徒が休み時間に立ち寄り、ホッとできる居場所となっています。人間関係でつまずき、教室に入れない生徒が一時的に避難する場所を提供し、不登校を防ぐサポートをしています。ここで、対人関係のあり方を体験的に学び、自己肯定感を育み、生徒の本来持っている能力を引き出す援助をしていきます。



3. 仲間と助け合う力を養うための活動<ピア・サポート活動>

問題を抱えた生徒だけのアプローチでは解決が困難な場合、周囲の生徒に声をかけ、生徒同士でサポートしあえるようグループに働きかけます。生徒自身の問題解決能力を高め、自立に向けてサポートします。その結果、問題の深刻化を防ぎ、新たな問題発生を予防する効果が期待されます。また、ピア・サポートの観点から、自己を知り、他者を認め、コミュニケーションスキルを高める取り組みを教員と連携し進めています。

